

事業計画書

事業名	キミヒロック外伝 in 狩野川
場所	沼津市 上土 狩野川 地内
実施予定期間	平成 29 年 1 月 10 日 ~ 平成 29 年 5 月 30 日
日程	実施項目・作業項目
	<p>これまで、主に室内での公演を行っていたが、まちづくりファンドの重点支援事項である「河川や公園などの公共空間を活用」を基に、屋外で多くの市民を巻き込んだ音楽イベントを開催し、その継続的な実施についてのありかたを検証する。</p> <p>今回は、当団体が実施している音楽教室の生徒（ギターレッスン）のほか、静岡県東部を拠点として活動している演奏家を主な出演者として、市民に対して生徒の活動発表、演奏家の活動周知を図り、それぞれの音楽普及・音楽を通じたまちづくりに対する意識の高揚を図る内容とする。</p> <p>音楽イベント終了後は、課題抽出と検証を行い、継続して市民に好まれるイベント開催が可能となるよう検討していく。</p> <p>開催予定日：平成 29 年 4 月 15 日（土）・16 日（日） 2 日間開催</p> <p>スケジュール</p> <p>1 月 出演者募集開始 インターネット募集・関連する演奏家等への呼びかけ</p> <p>2 月 スタッフ決定（PA 2 人、司会 2 人、会場スタッフ 4 人） チラシ作製・配布 曲目決定・譜面作成（1 ユニット 3 曲程度）</p> <p>3 月 スタッフ指導 転換りハーサル 出演者の技術指導等（演奏リハ）</p> <p>4 月 イベント開催 1 ユニット 20 分の出演枠を設け、2 日通して 36 ユニットの想定 参加者アンケート等による検証</p> <p>4 月 15 日・26 日</p> <p>8:00~ 設営・サウンドチェック 10:00~ 演奏開始 16:00~ 終演・片づけ等</p>
事業効果	<p>当団体は、市内大岡にプライベートスタジオを設置し、ここを拠点とした公演活動に取り組んでいます。しかしながら、市内には演奏家たちが使用できるスタジオが少なく、市内の音楽活動は縮小傾向にあります。</p> <p>そのため、当団体は、これまでの公演活動の経験を活かし、中心市街地の河川敷で音楽イベントを開催することで、音楽を通じた賑わいの場やコミュニティの創出を進めていきたいと考えています。</p> <p>また、ギターレッスンの生徒とプロの演奏家がふれあうことにより、生徒の意識高揚を図ることも想定され、市内の音楽活動の活性化も図られると考えます。</p> <p>イベント集客数 200~300 人程度を見込む</p>

※評価の視点については、募集の手引きを確認してください。

公益性	<p>市内には、演奏家可以使用できるスタジオが少なく、かつてのように音楽活動に取り組む人口が減少傾向にあります。</p> <p>そのため、初心者からプロの演奏家が一同に演奏できる場を、「狩野川河川敷」で行うことにより、演奏家と市民の音楽意識の高揚を図ることが可能であり、「狩野川河川敷」の活用は、まちづくりファンドの重点支援事項にも合致しており、公共空間の有効活用という視点にも合致するものと考えます。</p>
発展性	<p>これまで、室内で実施していた公演を屋外で行うことにより、多くの市民に活動を認知してもらうことが可能であり、同じ志を持つ市民の参画が想定されます。</p> <p>また、同イベントを継続的に開催していくことで、多くの市民を巻き込み、音楽を媒体としたまちづくりの活性化が見込まれます。</p>
地域性	<p>出演者については、地元に住居している音楽教室の生徒、静岡県東部を拠点として活動している演奏家を主体に構成していくため、顔なじみの出演者によるイベントを開催できることから、地元の方が参加しやすい環境を構築することができます。</p>
必要性	<p>公益性の記載事項と重複するが、市内には演奏家可以使用できるスタジオが少なく、かつてのように音楽活動に取り組む人口が減少傾向にあります。</p> <p>同イベントの開催により、演奏家同志の新たな繋がりや、市民と演奏家の繋がり場の場を作ることが可能となり、音楽人口の拡大のみではなく、音楽を媒体としたまちの活性化を図ることが可能です。</p>
先導性	<p>通常の音楽イベントは、プロ若しくはセミプロの演奏家による開催が主体であるが、地元の音楽教室の生徒の活動発表の場、公共の場に設定することにより、これをきっかけとした新たな演奏家の育成が可能ではないかと考えます。</p> <p>また、音楽教室の生徒の活動発表を同時に行うことにより、生徒の両親・祖父母など、これまで音楽イベントに参加することがなかった方の参加が見込まれ、「狩野川河川敷」に人が集まるきっかけを作ることができるのではないかと考えます。</p>
継続性	<p>これまで屋内で実施していた公演活動を屋外で実施するため、必要な資機材・出演者・参加者確保にかかる経費などに不確定要素が多いことから、まちづくりファンドを活用していきたい。</p> <p>将来には、継続的なイベント開催を見込んでいることから、本イベントの開催により、開催資金の調達方法等について検証していきたい。</p> <p>また、同様のイベント開催している他団体と連携も視野に入れていきます。</p>